

2011年12月吉日
立命館大学宮城県校友会
会長 下村泰雄

この度は、更なる第二次義援金のご恵贈いただき、誠に有難うございました。

3月11日東日本大震災から9ヶ月になろうとしております。

校友会本部におかれましては、いち早く学園ともども現地復旧・復興支援のため総力を挙げ暖かく、きめの細かい物心両面にて手をさしのべて頂き深く感謝いたします。

また、大学、校友会本部幹部の皆様、そして多くの関係各位が再々にわたり被災地を訪れ、励ましのお声を掛けて頂きました。勇気と希望そして復活への気力を与えていただいた事は、計り知れないものがあります。

とりわけ、東日本大震災復興支援特別委員会の辻寛委員長を先頭に委員会の皆様により、被災地支援のタスクホースとしてご活躍によるご支援に対し心より感謝いたしております。かさねて、全国の校友と関係者の皆様の継続的な御厚情に衷心より御礼申し上げます。

この度の第二次義援金につきましては、早速、宮城県校友会義援金配分委員会に諮り、早急に被災校友にお届けいたします。

現状、被災状況は一步一步と復旧・復興兆しはあるものの、まだまだほど遠く一層の努力を要します。

しかし、東北人の粘り強さと、したたかさを発揮し、力強く前進する事を期待しております。時間の経過とともに新たな課題も発生しておりますが、当面これから迎える過酷な冬場の季節こそ正念場と思います。心身ともに強く逞しく乗り越えねばなりません。

今後とも、物心両面で一層のご支援ご声援を賜わりますようお願い申し上げます。

皆様方のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

有難うございました。